

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年7月10日(水) NO10 文責 きした 木下 ふみあき 文秋

猛 暑

私は週末に中体連の役員として県武道館に行きました。業務が午前中で終わったので帰ろうとして車に乗ったら外気温が39度と書いてありました。「39」という数字を見たのは初めてだった気がします。気象庁の記録を調べてみると、私が高校生の頃の都城市の最高気温は34.9度とあります。今の暑さは昔にはなかったものだと分かります。体力がないとかそういう問題ではないということです。夏の県大会はできるだけエアコンが整備された体育館を使うために先行実施の競技が指定されて3週間にわたって開催されますが、屋外競技は昔のままです。甲子園も猛暑の時間帯の試合はなくなったり、一度ベンチに戻ってクールダウンする時間が設定されたりしていますが、太陽の下で行われることに変わりありません。水泳や野球、ソフトテニス、サッカーなどの屋外競技は相当気を遣うと思います。そもそも地球温暖化と言われますが、一番の原因といわれるのが、二酸化炭素です。二酸化炭素は、自動車や飛行機を動かしたり、電気を作ったり、ゴミを燃やしたりすることで、たくさん発生しています。かと言って今の生活からそれらの道具を排除することは不可能で難しい問題です。個人が頑張れば済む問題ではありませんが、これからの未来のために、今を生きている人間たちが先を見通して生活していかないと、大変なことになると思います。学校にエアコンがついて4年くらいになりますが、もはやエアコンなしで授業をしていたことが考えられないですね。まだ梅雨が明けていませんけど先は長いです。

もうひと踏ん張り

今週は体調不良を訴える生徒が多く、欠席と早退者が目立ちました。最近の暑さで体力を消耗していることもあると思います。コロナの感染者も少し目立ち始めました。生徒の多くはまだまだマスクを着用していますが、(特に県大会前もあって)予防の観点からは妥当かもしれません。しかし熱中症も懸念されますので、水分補給を含め十分注意して下さい。22日の終業式まであと少しです。人間関係のトラブルや個人の困り感で学校に足が向かない生徒も見受けられました。すべてを解決できる努力をしたいと思いますが、それらを学習して対応する能力を身に付けることも学校での学びです。もうひと踏ん張りですので、何とか頑張ってもらいたいと思います。